

昭和47年度 和歌山県文化功労賞

たけ はら きち すけ
竹 原 吉 助

住 所：大阪府富田林市

出 身 地：長野県

生 年：明治25年

◎業績及び経歴

大正12年国宝善光寺本堂修理工事に助手として従事されて以来、50有余年の長きにわたり文化財建造物修理工事に専念され、現在名実共に斯界の第一人者であり、手がけられた文化財建造物の修理は、13府県70余にのぼり、その卓越した技術は文化財関係者から高く評価されている。

なかでも本県では昭和18年に広八幡神社の修理工事の主任をつとめられて以来鞆八幡神社、東照宮、野上八幡宮、長保寺、高野山徳川家霊台、道成寺、高野山不動堂等20数件に及ぶ国宝、重要文化財建造物修理工事を監督され、また昭和33年から本県の文化財専門審議会委員に就任されるなど、本県の文化財保護に貢献された功績は極めて大きい。

昭和37年にはこれ等の功績により文部大臣表彰を、同39年には黄綬褒章、同41年には勲五等瑞宝章受章の荣誉に浴されている。また工事のかたわらその豊富な知識と経験を生かして後進の指導育成につとめられ、幾多の優れた文化財工事監督者が生まれている。